

# 芝浦工業大学柏中学校

## 2021 年度中学入試分析

### 国語

#### 全体を通して

大問構成は一回・二回入試ともに同じように出題しました。2020 年度までとは異なり、二・三を入れ替えて二で説明文、三で小説文を出題しました。2022 年度も 2021 年度同様の傾向で出題しますので、2021 年度の過去問題で傾向を知り、対策を立ててください。

漢字の問題では、成分や成り立ちを意識した問題も出題されています。漢字の部首や音記号などをふだんから注意深く見ておくようにすると、漢字が覚えやすくなり、覚えた漢字の数も増えていくでしょう。

また、小説・説明文合わせて 200 字程度の字数の記述問題が出題されています。今年度も特に小説文の「本文の記述をもとに書かれていない内容を考える」問題や、説明文の「本文に書かれている内容を別の事象に当てはめて考える」問題が難しかったようです。本文に書かれている言葉を単につなぎ合わせるだけでは適切な答えは書けません。本文の内容を自分の言葉で捉えなおして、筆者は何を言おうとしているのかと考えてみる練習が、ふだんから必要となるでしょう。また、筆者の主張を読みとくだけでなく、その主張についてどのように考えるのか、自分なりの問題意識を持ちましょう。

#### 差のついた問題について

合格者と不合格者の差がついている問題としては、①漢字、②説明文中の適切な場所に脱文を補充する問題、③小説文中の表現方法についての問題、④小説文中の人物の心情を読み解く問題があげられます。

① 漢字では、書き取り問題 4 題（一回一の間一）のうちの 2 題がそれぞれ 20% 程度の差がついています。この傾向はここ数年続いています。また、漢字の成分から漢字を考える問題（一の間二）も 20% 弱の差がついています。特に間二の D では、まずどの漢字についての話がされているのかを考えた上で、その漢字を使った熟語を自分で考えなくてはなりません。たくさんの漢字に触れ、漢字の成分を考えて自分で使えるようにしましょう。

② 説明文中の脱文を補充する問題（一回二の間三）で 20% の差がついています。脱文として指定された文中のキーワードや内容を踏まえて、どこに挿入すべきかを検討するために、前後の文脈を理解する必要があります。毎年出題している形式ですので、過去問を見て慣れておきましょう。

③ 小説文中の表現方法についての問題（一回三の間八）で 20% 程度の差がついています。小説文では比喩表現や擬音語などが使われることが多くみられます。自分の頭でイメージを膨らませて考える必要があります。字面を追うだけでなく、一つ一つの表現の意味を考える習慣をつけましょう。

④ 小説の人物の心情を読み解く問題（二回三の間二）も難しかったようで、25% の差がついています。

特に今回は、答えの根拠となる記述が傍線部から離れた場所にあったので、本文全体のストーリーを理解していないと解けない問題になっていました。本文をすべて読んで内容を理解したうえで、一つ一つの問題に取り組むようにしましょう。

①漢字の成分から考える問題（一回一の間二のD）

D 生徒達が次のような話し合いをしています。

「己」という漢字は、音記号としても使われているね。（ことば）をあらわす部首がつくと、言葉を文字にして残すような意味の漢字になった。」

「部首を（糸）にすると、時の流れをあらわすような漢字になったよ。」

「この漢字は動作をあらわすからこの部首がついているのかな。この部首は（しんにょう）の仲間だね。」

「三の漢字全て『キ』と読めるね。調べてみたら、『己』という字も、『キ』と読めるみたいだよ。」

生徒たちはどの漢字について話しているでしょうか。生徒達が話しているこの漢字を使った熟語を、自分で考えて答えなさい。

解答 起床 など

②説明文中の脱文を補充する問題（一回二の問三）

一つは科学・技術の効能について先に述べたように、それによって人間の生活が便利で効率的になり、生産力が増大し、人々の暮らしが健康的で豊かになるということです。特に技術は人間の生活に密着した人工物を製作することが本来の目標ですから、技術の効能がより大きくなるためには人々の生活により役立たねばなりません。そして、当然、技術の発達による効能が経済的利得と結びつくことが求められます。要するに、儲かるための技術開発であることが、一般に受け取られている「社会の役に立つ」という意味になります。〔I〕

A 「役立ち方」はそれだけではありません。もう一つは、ニュートリノの研究がそうであったように、純粋科学や文化の創造に寄与するという役割です。私は常々「科学は文化である」とか「文化としての科学」と言っていますが、金儲けや経済的利得は二の次で、人間の精神的活動としての文化の一つとして科学を考えています。モーツァルトの音楽もゴッホの絵画もロダンの彫刻もモリエールの演劇も、これらの芸術の成果は文化であり、「無用の用」と言えるでしょう。これらが無くなっても私たちは生きていけるのですが、これがない世界は精神的に貧しくて空しく感じられるでしょう。「人間はパンのみにて生きるにあらず」で、物質世界から言えば「無用」ですが、精神世界には「用」なのです。〔II〕

ここで「文化」というものが持つ意味を考えてみましょう。文化は人間の精神的活動の成果で、芸術のみならず芸能や学問や宗教や道徳などが含まれ、科学もその一つです。文化とは、「あることが大事で、無くなれば寂しい」というもので、基本的には個人の心を満たすためのかけがえない先人の贈り物と言えるでしょう。〔III〕

文化のための行為ですが、まったく個人のレベルに閉じているのが「趣味」です。切手集めや小石集めや貝殻集めなどの趣味は、通常は利易や見返りを求めず、自分が楽しければよいというものです。それが文化の発祥であり、それはとても大事な人間の営みなのです。西洋では、珍しい植物や動物や鉱物を蒐集する趣味から、やがて蒐集物の共通する部分と異質な部分に着目して分類するという「博物学」になりました。B、その各々の分野が独立して植物学・動物学・鉱物学というふうに分科して「科学」へと発展しました。①その意味では、科学は趣味に出自（生まれ故郷）を持つ個人の楽しみであったのです。〔IV〕

問三 次の文は本文中の〔I〕・〔II〕・〔III〕・〔IV〕のいずれかの箇所に入ります。もっともふさわしい箇所を選び、ア～エの記号で答えなさい。

先<sup>\*</sup>のニュートリノに対する質問も、ニュートリノが遠隔通信に使えるというようなことを期待したのでだろうと思われるが、科学・技術の研究はこのように役立つことが当然と通常は考えられているわけです。

※注 二〇〇二年に小柴昌俊氏が宇宙を構成する重要な物質であるニュートリノに関する研究でノーベル賞を受賞した際に、記者が「ニュートリノは何の役に立つのですか」と質問した。

- ア 〔I〕 イ 〔II〕 ウ 〔III〕 エ 〔IV〕

答え ア

③小説文中の表現方法についての問題（一回三の間八）

問八 〰〰部ア、エの表現について、生徒がそれぞれ表現を選び、その表現方法について意見を述べています。それぞれの説明にあてはまる表現としてもっともふさわしいものを〰〰部ア、エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使ってはけません。

A この表現は、山男が実は作法など知らずに普段生活していることを暗に示しています。また、周りの人がそういう山男を受け入れていることを示す部分にもつながっていきます。

B この表現は、山男が普通の人間とは違うことを表していると思います。周りの人から見ると山男は町で暮らす人間からかけ離れているように見えることが読み取れます。

C この表現は、山男の外見が立派であることを描写しています。その意味では山男らしくない様子に皆が意外に感じている部分だと思えます。

D この表現はおそらく比喻だと思えます。もちろん、山男が大きいことを示してもいると思いますが、今までの話ではそこまで大きいとは書かれていないと思いますから。

ア

せなかに大きな桔梗ききょうの紋もんのついた夜具やぐをのっしりと着込んでねずみ色の袋ふくろのような袴はかまをどふつとはいておりました。

イ

そして眼をまっかにして「へろれって、へろれって、けろれって、へろれって。」なんて途方とほうもない声ではえはじめました。

ウ

そこでみんなは青いりんこの皮をむきはじめました。山男もむいてたべました。そして実をすつかりたべてからこんどはかまどをばくりとたべました。それからちよつとそばをたべるような風にして皮もたべました。工芸学校の先生はちらつとそれを見ましたが知らないふりをして居りました。

エ

ちよど七つの森の一番はじめの森に片脚かたあしをかけた所ところだつたのです。

答え Aウ Bイ Cア Dエ

【一】ビルマ僧との遭遇

あるとき、合唱している最中に、一人の兵隊が隣の人を肘でつついて、指で見物人の方をさしました。つつかれた人を見ると、押しあつてならんでいる群集のうしろに、一人のビルマ僧が立っていました。

いつか橋の上で出あったビルマ僧です。あの水島にそっくりな人です。彼は肩にきらきらと光る青い鬚哥イシゴをのせて、凹んだ目くぼでじつとこちらを見ました。

【二】水島からの手紙とその後の日本兵たち

——私はいま僧院そうゐんにいて、夜を徹してこの手紙を書いています。もう暁にちかく、月がひくく傾いて、庭の椰子やしの葉の下にぼーっと大きく光をあけています。星がしきりにながれています。

私がどれだけ戦友たちに「水島です」と名のつてゆきたかったか——、お察してください。しかし、ひとたび日本人だと分れば、収容所に入らなくてはなりません。あたらしい任務をすててはなりません。いくたびか手紙も書きかけましたが、いまさら未練なことはやめようと、いつも自分を叱しかつて中止いたしました。一しよに帰つて共に働くことができないのですから、生きているということが皆様に知られるのは、かえつてつらかったです。ことに、あとで本当のビルマの僧侶となつてからは、日本兵水島という者はまったくいなくなつたのです。

問二 ——部①「彼は肩にきらきらと光る青い鬚哥イシゴをのせて、凹んだ目くぼでじつとこちらを見ました」とありますが、このときのビルマ僧の気持ちはどのようなものだと考えられますか。【二】の文章をふまえて40字以内で説明しなさい。

答え かつての戦友達の姿を目の当たりにして、今すぐにでも名乗り出ていきたい気持ち。（38字）